

千 草 会 報

題字 原あやめ

創立80周年を迎えて

千草会会長 佐藤紀子

山脇美術専門学院は今年、創立80周年を迎えます。今、学院と千草会は11月1日の創立記念日に向けて記念行事の計画を進めております。

同窓会当日は山脇敏子先生や原あやめ先生の授業を受けられた卒業生の皆様方にはなつかしいひと時として、近年の卒業生の皆様方には80年という長い歴史を感じていただけるよう、心温まる一日になれば：と思っております。

今回のような大きな記念行事を実行するためには当日までに、多くの話し合いの時間を必要としますし、意見も様々な立場の違いもあります。しかし何度も話し合いを重ねていく内に、ひとつの目標に向かって皆が心を合わせていくことができ、その先にはとても大きな喜びが見えてきます。山脇先生のドレスや着物の刺繍のように、先生のデザインをもとに、何度も何度も納得のいくまで繰り返し仕事を後に美しいハーモニーが重なり合っているひとつの作品を仕上げるまでの気持ちに似ている気がいたします。そこにはたくさんの手や技術や工夫によってより素晴らしいものが形になっていくことの楽しさがあり、そんな時間と場所にいられることに感謝したいと思っております。

数年前から会報の編集のお手伝いをさせていただき、縁あって、今年度、会長をお引き受けすることになりました。卒業生の皆様の声に耳を傾けながら、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。

この千草会の会報は山脇の卒業生の皆様に学院の現在の様子をお知らせすると共に、卒業生の方々の活躍や、メッセージをお伝えする大切なものとして発行されております。できるだけ多くの卒業生の皆様のお手元に届くよう住所録の変更など、随時対応しておりますが、現在3600名余りの方々への発送をしております、まだまだ不明の方々も沢山いらっしゃるのが現状です。皆様からぜひ住所変更のご連絡をいただければ幸いです。この80周年の同窓会をきっかけにより多くの皆様に発送することができそうです、願っております。また卒業後の近況やご活躍もお知らせくださいませ。

同窓会で皆様にお目にかかれまことを楽しみにしております。

目次

- 創立80周年を迎えて…………… 1頁
- 教務部長より…………… 2頁
学科長より
- 卒業生だより…………… 3頁
- 1点展 山脇V D科の様々…………… 4頁
- 研修旅行…………… 5頁
千草会賞・千草会費の会計報告
- 学務課より・就職について…………… 6頁
公開講座について
千草会だよりとお知らせ
講師・職員移動報告



21

年号





教務部長
姉齒公也

昨年10月から私的な活動として、代官山のプラスDというスペースでVD科卒業生によるミニ個展を企画運営しています。またその内の8名でグループ展「やまわきつづ」を3月に催しました。

また6月にはVD科同窓会展「1点展 山脇VD科の様々」を催し、出品者70名を越える盛況でした。

その中で感じた事は時間とネットワークの力です。私が山脇にお世話になってからたった十数年ですが、学校を通過していった人達は実に多彩で、様々な分野で活躍しています。卒業生の皆さんは経験という時間を積み重ねています。

歴史は人の記憶の中に創られていくものだと思います。山脇の歴史は現在も今後も、更に新たに多彩な通過してゆく人達の中で作られています。

私は今後の山脇に夢を持っていません。それは、魅力ある場として多種多彩な人達や情報が行き交う事。そして優れた情報コンテンツや人材を絶えず産み続けていく事です。そんな夢を持って教室の現場に望んでいます。



ビジュアルデザイン科
中沢しのぶ

山脇の講師としてお世話になって今年で7年。先生方や助手さんたちに支えて頂き、昨年度の後期より、未熟ながらビジュアルデザイン科科長をさせて頂いています。

先生という仕事をしていると毎年のように、卒業する学生から寄せ書きの色紙を貰います。そこには時々、ドキッとする程重みのあるメッセージが書かれていることがあります。先生というのには生徒の人生を変えてしまおうような影響力を持つこともあるのだと、その責任の大きさを痛感します。

変化し多様化する時代とともに、刻々と流動するデザイン分野では、今日学んだことが明日には何の価値も持たなくなることもありえます。VD科は、今必要な知識や技術だけでなく、20年後30年後もこの業界で生きていくための基礎筋力や、知恵や度胸をも身に付けられる場でありたいと思います。

デザインは問題を解決する力。ここの学びが、行く途の様々な困難を自力で解決する手助けとなりますように。わたしも日々学び、努力して参りたいと思います。



コスチumerデザイン科
昭和49年卒
大塚陽子
旧姓栗山

山脇卒業後、アパレルメーカーの子供服のデザイン室に4年勤務して、結婚退社。結婚を機に東京から横須賀に移り住み、その後一男一女の母となりました。

子供の洋服を手作りしては「可愛い？」と自己満足！息子は出来たばかりのスポンを滑り台で遊びビリビリに。娘は後になって気に入らない服もあった！と告白(笑)

そんな子育てに一段落した時に編み物の講師の免許を取り、自宅でお教室を始めました。

その後、以前から生地を買いに行っていた鎌倉のスワニーにパートとして勤めることになり、接客の仕事から始めました。物を売ることの難しさを痛感しながらも、何千種類もの生地やたくさん糸・針・ボタン・ビーズ等に囲まれて、仕事に行くのが楽しくて仕方ありませんでした。中でもバッグを作った事が無かったもので、大変興味を覚え、たくさん作品を縫い勉強いたしました。

その後、インテリアのカーテン等のフロアードで経験を積み、アトリエに配属になり、バッグのパターン・



北欧風プリントのグラニーバッグ
「鎌倉スワニーのおしゃれバッグ」より

山脇の講師としてお世話になって今年で7年。先生方や助手さんたちに支えて頂き、昨年度の後期より、未熟ながらビジュアルデザイン科科長をさせて頂いています。

山脇で洋裁だけでなく、デザイン画・編み物・刺繍・油絵・お料理等、幅広い丁寧な物作りの基本を教えて頂き、現在の自分の仕事の原動力になり大変感謝しております。

時々当時の友人とランチをしながら昔話に花が咲き、オクタ先生、坂巻先生、清水先生、村田先生のお話や基礎縫いの大変だったこと、新宿の仮校舎の思い出等で時の経つのも忘れ楽しいひと時を過ごしています。

今年の4月にたくさんの方に手作りして頂きたく「鎌倉スワニーのおしゃれバッグ」を発売いたしました。スタッフ一同大変な作業でしたが、良い経験が出来たと思っております。これからも世界でただ一つの手作りバッグや日傘のお手伝いが出来ればと日々努力をしております。

皆様も鎌倉にお出かけの折には是非お立ち寄り下さい。



インテリアデザイン科
浅野真理

私が山脇美術専門学院で模型の講師を始めた頃は、生徒は女子だけのリビングアート科の時代でした。今年で17年目、週1回の授業を担当させて頂いておりましたが、長いお付き合いになります。更に、昨年からはインテリアデザイン科の科長として、山脇と深く係わる立場になりました。

山脇は今年で80周年を迎えます。山脇の歴史から比べれば17年間はほんの一部にすぎません。その僅かな間にも男女共学化、学科の変更、ギヤラリーの設置など時代に合わせ柔軟に変化してきました。

最近の少子化問題は、山脇にとっても学生数の減少という大きな問題を抱えています。この問題を解決し100周年を迎える為には、良い学生を社会に輩出する専門学校として80年の伝統を生かしつつ、先を見据えた柔軟な変化が必要でしょう。

科長として、これからの山脇の為にやるべき仕事の重大さと責任を感じていますが、皆様の協力を得ながら日々努力していきたいと思っております。



ジュエリーアート科
平成17年卒
木村智久

月日の経過は早いもので、山脇美術専門学院を卒業して4年が過ぎました。現在は伝統工芸品などを扱う会社で腕を磨く毎日を過ごしています。

在学中から伝統工芸の分野に興味を持っていたので、今の会社は自分にとって最高の就職先と感じていました。実際に就職してみると、伝統技術に憧れる気持ちが鈍る一方、同じ作業の繰り返しに心が折れそうになることもありました。しかしこのように忍耐力が実を結び、自身の作品を制作していく度に確実にスキルアップしているとようやく感じるようになりました。

また会社では、さまざまな技法の中で特に鍛金は在学中にあまり触れなかった分野で知識がほとんどなかったのですが、会社で学べることで、自分の作品作りの幅が大きく広がりました。去年からは積極的に作品展に出品するようにになり、入選という目に見える形で結果を得て、自分にとって大変大きな励みとなっています。

伝統工芸の世界はたくさんの方々が存在し、まだまだ覚えることが無限にあります。先人達の技術の積み重ねがあつて今にたどりついているこの分野を、今から自分と歩もうとしていることは途方もない長い道のりにも感じます。しかしそれに挑むことは非常に楽しみであり、学べば学ぶほど魅力的な世界だと思っております。



銅花器「渦」
(第37回伝統工芸
日本全工展入選)



銅花器「竹節」



ジュエリーデザイン科
富永 文

石倉先生の退職に伴い、この4月より、ジュエリーデザイン科の科長に就任させて頂きました。

はじめにそのお話を頂いたときは、まだまだ勉強中の私には、とてもではありませんが力不足ですと幾度も申し上げました。けれども、石倉先生の築かれたジュエリー科を、なるべく今のままに存続させたいという想いと、後輩であり、教え子である学生に、ひとつでも多くの事を伝えたいという想いで、お引き受けした次第です。

先日の卒業式の後、石倉禎江先生、石倉欣二先生、永野先生、山口先生の送別会が行われました。100人もの卒業生が駆けつけ、また参加できない卒業生から多くのメッセージが寄せられ、改めてジュエリー科の伝統の素晴らしさと大きさを感じ、鳥肌が立つほどでした。

先生方が築いてくださったジュエリー科を大切に、心をこめて育てさせて頂いていただく所存です。何卒、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

今日大不況と叫ばれ、暗いニュースが続いています。私の勤めている会社も例外ではありません。これから就職活動に挑む方々にとっては、これまで以上に大変な時代かもしれません。しかし大事なことは自分のやりたいことをどんな形でも続けることだと思います。諦めることは簡単です。どんなネガティブなことにも直面しても諦めずに笑い飛ばせるような精神力と、常に人生を楽しむ姿勢をもって、この時代を乗り切ってくださいませ。

今日大不況と叫ばれ、暗いニュースが続いています。私の勤めている会社も例外ではありません。これから就職活動に挑む方々にとっては、これまで以上に大変な時代かもしれません。しかし大事なことは自分のやりたいことをどんな形でも続けることだと思います。諦めることは簡単です。どんなネガティブなことにも直面しても諦めずに笑い飛ばせるような精神力と、常に人生を楽しむ姿勢をもって、この時代を乗り切ってくださいませ。

研修旅行 5月21・22日

平成20年より、在校生の中から各科1~2名より委員を決め、会報や千草会の様々な仕事のお手伝いをお願いしています。



ミュージアムオブアート

河口湖

河口湖遊覧船では、もともとその日は雨の予報だったのですが、運がよく晴れ、綺麗な景色を見る事ができました。調度私達が乗った時間は乗客も少なく、全員が2階に上がり、それぞれが富士山を背景に写真を撮ったり、景色を眺めながら談笑したりと、思い思いの時間を過ごしました。船に乗っている間、風がとても強かったのですが、そんなことも気にならない程に楽しい時間でした。

山梨宝石博物館では、ひとつの鉱石のケースごとに、原石から、研磨されたもの、ジュエリーにセットされたものと様々な状態が展示されているほか、原石のコレクションも充実しており、世界の有名ダイヤモンド12石の原寸模型や、ダイヤモンドの研磨工程を再現する研磨モデルマシンなど、宝石研磨に関する様々の品を見ることが出来ます。まだ石留めを習っていない1年生も、スタッフの方から説明を伺ったり、貴重な標本に触れたり興味津々の様子でした。

ジュエリーデザイン科 2年 齊藤 香織
古屋 早織



清春白樺美術館

中村キースヘリング美術館

今回の研修旅行は全科合同で楽しく過ごす事が出来ました。新宿に集合して、バスに揺られること2時間！八ヶ岳の森に佇むリゾートホテルに到着。世界的建築家、マリオ・ペリーニが手掛けたこの建物で私たちはランチを頂く。チキンとパン、高原野菜の味が忘れられません。その後、インテリア科はホテル内を見学させていただきました。印象的なガーデンチャペルを始め広々としたスタイリッシュな空間を楽しみました。

また、新建築の本で見た茶室「徹」を清春芸術村で実際に見る事ができ感動しました。

2日目は吹きガラス体験をしました。思っていたよりも難しく大変でしたが、完成品を見て色が綺麗で制作して良かったです。河口湖オルゴールの森では日頃、目にする事がない白鳥やバラが綺麗でした。今回の研修旅行が、今後の作品に活かされれば幸いです。

インテリアデザイン科 2年 五十部 嘉代
永野 玲奈



青木ヶ原樹海

スパティオ体験工房

5月21・22日、全学年で山梨へ旅行に行きました。始まった時は、皆バスの中で会話したり、お菓子を食べたりと賑やかでした。

旅館でも、その勢いは止まらず、夕食を済ませた後、カラオケで歌ったり、他の班の部屋に遊びに行ったりして1日目を終わりました。

2日目の朝、早い時間に起きたからなのか、皆少し元気が無くなった感じでした。中にはまだ半眠状態の人も居たかもしれません(笑)。

旅館を出た後、ビジュアル科は青木ヶ原樹海と、風穴と言う洞窟に行きました。樹海の中は、私が思っていた以上に木が生い茂っており、道も歩きづらかったです。ちなみに私は1回転びました(笑)。風穴の中はとにかく寒かったです。

1泊2日の旅行なので、アツという間に終わってしまいました。皆素敵な思い出になったと思います。

ビジュアルデザイン科 2年 佐藤 大介



ビジュアルデザイン科助手
曾我部 理沙

リビングアート科デザインコース
平成10年卒



ジュエリーデザイン科助手
北村 静香

ジュエリーアート科
平成16年卒

「今思ふこと」

先入観を捨てようとはよく聞く話だ。しかし、あらためて先入観とは何なのかと考えてみると、言葉の説明は出来るが、それは大きくくりの意味で、自分の答えでは無いことに気付く。では自分の先入観を知るためにはどうしたらいいのか。

山脇を卒業してからの10年を振り返ると、仕事や遊びで知り合う人が増え、それに伴い行動範囲が広がり、楽しいことや忘れられない出会いがあったが、腹の立つことや、悔しいこと、理不尽な出会いもまたあった。そのような場面はなるべく避けたいと思っただけ、はじめは否定的としかとれなかったが、感動的な出会いと同様に学びは大きい。嫌だなと感じることがあった時は、その気持ちだけで終わらずに、この人は何の事を言っているのか理解しようと心掛けることだと思ふ。会話のなかの疑問点を見つけ、誤解を知り、相手と共通の部分を見つけていくうちに、同時に自分の先入観、悪い癖・未熟な部分・良い習慣などに気付き始めた。

考えただけでは分からないことがある。それに気付くことが出来ず、行き詰まったことがある。その時思いついたのは、色々な人に会って話を聞き、色々なところに出かけて、よく見なさいという言葉だった。これは本当に多くの人から言われた。

当時その真意は良く分からなかったが、わからないままにもとにかくやり続け、それを通して経験を重ねていく事で見えないものもあるということを知った。今分からないことも分かる時が来る。人の話に耳を傾けることを忘れずにいたい。

「出逢ふこと」

昼は広告営業、夜はキャリアアコンサルタントの仕事を手伝いながら勉強していた時の、尊敬する上司の話。その人は、底抜けに明るくて、いつも笑っていて、その反面、仕事では物凄く集中力で確実に結果を出し、上からも下からも信頼の厚い人だった。

ある時、私は見習いの身でありながら、会社の研修に行くよう言われ、まだ社員になれない力不足と思っていたので、断固拒否した。その研修が厳しいのはわかっていて、チャンスではあるが、今の自分では他の社員に付いていけないだろうと思った。上司は「失敗したらどうしよう……」と思ってるね？出来なかったらどうしよう……じゃなくて、出来ちゃったらどうしよう！と思うんだよ」と笑っていた。

結局私は、失敗を繰り返して、ぼろぼろよれよれで研修から帰ってきたが、上司は「良い経験をしたね！」と、いつもの様に笑っていた。後悔して悩むより、猛烈に反省して次に繋げることにした。

「人生楽しんでもん勝ち」がモットー。他にも沢山の言葉を頂き、一緒に仕事をしながら、その言葉の本当の意味を少しずつ理解していった。色々な事に気付かされた。今迄本当に良い上司・仲間に出会えてきたけれど、特に影響を受けた人の一人だと思ふ。

仕事柄、沢山の人の人に出会って来て、それによって学ぶ事の多さを実感している。良い出逢いが沢山あって幸せ！色々な価値観を知ることが楽しい！助手として学生達に、少しでも伝えられたら、感じて貰えたらと思っている。

「1点展」山脇VD科の様々

今回の企画展示は、山脇が今年創立80周年を迎えることがきっかけとなり開催されました。参加者は、ビジュアルデザイン科、旧リビングアート科デザインコース、旧スーパーC/Aアート科、旧デジタルデザイン科の卒業生、講師、在校生を含め総勢75名となりました。作品は「1点展」という展示名にもあるように、1人1点。

今回の展示に向けて、仕事や子育てをしながら作品を作った下された方、卒業以来初めて展示に参加しましたという方、現在はプロとなり活躍されている方など様々な経歴の方々に参加して下さいこの企画を盛り上げて下さいました。

山脇という場所で生まれた縁を今後も長くつなげていけるよう、そして皆様のご活躍の発表の場としてもご利用いただけるよう、これからも新しい企画を企てて行きたいと思っております。

1点展 山脇VD科の様々 2009年6月14日(日) 6月27日(土) ご参加頂いた皆様、そしてお忙しい中足を運んで下さった皆様、本当にありがとうございます。



1997年入学 2004~2008年 助手 柏木恵美 絵本:「pomodoro ポモド一口」
2009年入学 諸星侑保 立体:「3時のおやつ」



2003年~VD科現講師 品川幸人 オブジェ:「れんこん時計」



1点展会場風景

ビジュアルデザイン科助手
羽成 まどか

千草会費

●千草会費の会計報告

平成20年度 千草会費 収支

支出	収入(平成20年度収入)
千草会報 発行費.....961,421	千草会費 31名 930,000
行事費 同窓会費.....0	寄付 25,000
千草会賞.....70,559	山脇展売上 5,419
千草会員 展示 お祝い.....75,505	利息 3,172
通信費.....127,740	計 963,591
委員会運営費.....931,528	収支
義援金.....30,000	収入 963,591
備品購入費.....20,281	支出 2,217,034
計 2,217,034	計 -1,253,443

不足分は今年度までの繰越金で、補っております。

千草会賞

●千草会賞

平成20年度千草会賞を受賞された方々です。会長細田直孝先生より、褒賞金と記念品として書籍が授与されました。

VD科 北島巳季

「デザイン解体新書」
「Bloomy Girls」

ID科 小澤拓也

「THE FINEST OF STREET CULTURE 2008」

JD科 津田直美

「Jeweled Garden」

昨年から世界的な不況により新卒採用を控える企業が多く、求人は激減しております。また新卒者に求められる能力は、年々高まる一方です。

昨今では、社会における仕事の意義の変化や、雇用形態、職業の多様化が進み、学生も様々な不安や悩みを抱えております。しかし、仕事を通して得られる、労働の楽しみや、社会参加の素晴らしさに期待し、就職活動に取り組んで欲しいと思います。

主な就職先(平成二十二年卒業生)

(株)アレックス、(株)イグジット、(株)岩崎、エステール(株)、(株)ケイシンインターナショナル、(株)研究出版、デジタルフアクトリー、大和サービス(株)、(株)タナカデザイン、(有)ニヘイ、長谷川ウェブ設計(株)、(有)奈良金屋、(株)レオパレス21、
 追伸 千草会員の皆様からも、在校生の就職に関する情報のご提供をお願い申し上げます。
 (学務課就職係 森田 03・3264・4020)

公開講座中止について 学院長 細田直孝

一昨年は、本学院の公開講座開設準備のためのアンケートにご協力いただきありがとうございました。その結果を参考にしながら、また学院自身の調査を踏まえて、公開講座のプログラムを慎重に検討してまいりましたが、昨今の少子化という社会情勢の変化により学院本体の運営が厳しい状況に置かれている現在、不本意ながら、付帯事業である公開講座プランは中断せざるをえなくなりました。しばらくは学院本体の充実と進展に鋭意力を注ぐ所存でおりますので、卒業生の皆さまには今後とも変わらぬご支持とご理解をたまわりますようお願い申し上げます。

千草会だよりとお知らせ

副会長 直野晶子

暑い日が続いておりますが、皆様お元気でいらつしやいますか。
 以前よりお伝えしておりました通り、本学院は創立80周年を記念し、記念式典および同窓会パーティーと作品展を実施いたします。詳細は左記の通りです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

山脇美術専門学院創立80周年行事

日時 平成21年11月1日(日)
 場所 アルカディア
 記念式典 10時30分より
 同窓会パーティー 12時より
 会費 旧コース(ABC) 5000円
 現コース(その他) 3000円
 作品展 山脇ギャラリー
 10月31日(土)～11月7日(土)
 11時～18時(※最終日は19時まで)

尚、記念行事のお知らせと出欠のお返事のおハガキは、9月中旬頃までにお送りいたしますのでよろしくお願いいたします。

◆お知らせ◆

封筒に記載されているアルファベットや番号は、卒業時のクラスや年度により分別されております。

- ・ A 手芸 関係
- ・ B 洋裁 関係
- ・ C リビングアート科
- ・ CI リビングインテリア科・インテリアデザイン科
- ・ CD リビングデザイン科
- ・ CV ビジュアルデザイン科
- ・ F ジュエリー 関係
- ・ H デジタルデザイン科・スーパーCG科

※住所変更のご連絡は随時受けつけております。
 千草会までお知らせ下さい。

講師・職員移動報告

●退職された先生

インテリアデザイン科 市村倅子先生
 ジュエリーデザイン科 石倉禎江先生
 石倉欣二先生
 永野修二郎先生
 山口 遼先生

長い間ご指導ありがとうございました

●就任された先生

インテリアデザイン科 左 知子先生
 馬場美次先生
 富永 文先生
 遠藤容子先生
 熊谷千賀先生

◆災害地へのお見舞い◆

不安定な天候による大雨や竜巻など、各地で相次ぐ災害に見舞われております。被害に遭われた方へ、心よりお見舞い申し上げます。

山脇展

10月3日(土)、4日(日) 10時より

千草会では、今年も山脇80年史のパネル展示や催し物を予定しております。皆様お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

発行

山脇美術専門学院同窓会

〒102・0074

東京都千代田区九段南4・8・21
 電話 03・3264・4020